



**悠遊社の仲間が増えました!!**

本年五月一日から、香川県高松市飯田町で事業展開していた「グループホーム菜の花」が、悠遊社の施設として仲間入りしました。

子会社の「ケアサービス菜の花」にもグループホームがありますので、名前の下に「高松」を添えて呼んでいます。



株式会社悠遊社 代表取締役 寺河 駿

**「世はまさに介護人材不足」**

コロナの縛りから解放されると、一気に人の流動性が高まってきた。どの介護事業所に、聞いても、働く人が不足している。他の業界に人が流れているのも事実でしょう。

この度、初めてモンゴルからの医学生が八人やってきました。今季十人の予定です。六月末にはミャンマーから二人来社の予定です。この日本の介護人材不足を、外国人材で補っています。ベトナム国を始めとして、フィリピン、モンゴル、ミャンマーと多彩な人材で、総勢百二十人程になります。介護福祉士をめざし勉強も進んでいます。

この調子ではこの二、三年で二百名程になりそうです。当分は外国人材に頼らなければ、やっていけない状態が続きそうです。

代表取締役社長 寺河 駿



## よろしくお願ひします



◎スタッフより

「私たちグループホーム菜の花は「株式会社菜の花」の一員として十数年、地域に貢献してきました。

悠遊社の一員となり、これからも地域とのつながりを大切に、以前にも増して入居者様が充実した毎日を過ごすことができ、ようにサポートしていきます。

これからも入居者様の社会的なつながりを広げ、地域社会との絆を深めるお手伝いをしていきます。」



「チャレンジし続ける悠遊社に貢献できる資格者になってほしい。」と、寺河社長の掛け声のもと、五月十九日 松山市総合コミュニティセンターで、今年も介護職員初任者研修が開講しました。



「チャレンジし続ける悠遊社に貢献できる資格者になってほしい。」と、寺河社長の掛け声のもと、五月十九日 松山市総合コミュニティセンターで、今年も介護職員初任者研修が開講しました。



「フィリピンからスタッフ来社」

フィリピンから新たに三名の特定技能職員が来日しました。悠遊社では、介護や医療を目指す海外の人材を受け入れ、必要な教育や資格を身に付けてもらいながら、スタッフの一員として共に働くことができる環境を築いてまいりました。

私達の仲間として働くことで、より絆は深まり、国際交流に貢献できると信じています。これからの皆さんの活躍を心からお祈りいたしております。



「六月誕生日職員」

福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

- 六月誕生日職員
- GHあすなる 堤 和恵
  - GHエーデルワイス 有田 浩一
  - GHエーデルワイス 石川 美鈴
  - GHくれない 佐伯 幸子
  - GHさくら 亀井 愛
  - GHマイルデイ 妻鳥 秀樹
  - GHたんぼ 北野 克季
  - GHデイニング 加納 恵実
  - GH今井 桂子
  - GHゆうゆう南江戸 田中 栄子
  - GH渡部 裕子
  - GH菜の花 吉田 ひとみ
  - GH新町 藤田 ティ
  - GHフエンチャン 有料 ゆうゆう三島 長谷川 理江
  - GH菰田 三寿希
  - GH田中 智也
  - GH重信の郷 鳥井 知世
  - GH紅葉の里 おだ ぐエン ティ
  - GHホン / デイ ゆうゆう 西川 和美
  - GH有料 ゆうゆう 加藤 陽子
  - GH加藤 亜紀
  - GH高住新居浜 浅井 美代子
  - GHゆうゆう東石井 渡部 妙子
  - GH藤岡 美なみ
  - GH総務課 國岡 美恵
  - GHシヨート ゆうゆう 大洲 森越 奈美
  - GH友子 / 小規模行つて民家 エン ティ
  - GHクイ タオ / 高ゆうゆう南齋院 古賀 純子
  - GH優瑠里 藤井 巳香
  - GHゆうゆう立花 ヴー アン
  - GHハイ / 春日 訪問 福家 賢子



「新生菜の花スタート!!」

「デイサービス菜の花」

新緑が目鮮やかに映る季節となりました。送迎中なども、外を見ていると、とても気持ちの良いものです。五月から利用者も、大所帯となり、賑やかになっていきます。菜の花の食事は、手作りでも美味しいと好評です。



これからも、利用者様がデイサービスを楽しみながら過ごして頂けるよう職員一同、頑張っていきます。

お知らせ

本社の複合機が新しくなりました。本社にてパソコンからプリントをされる方はドライバーのインストールが必要になります。設定が必要の方は来社前に日時のご予約をIT担当へお申し付けください。



「相原バラ園へ行ってきました」

ゆうゆう針田

バラの花が庭先で咲く季節になりました。ゆうゆう針田から車で一〇分のところにある、相原バラ園さんは、ガーデンスタイルのお店で散策してショッピングが楽しめます。店内での展示販売の他に、「手作りのモノ」と「コト」をコンセプトにしたワークショップも手掛けているそうです。



すぐ隣はカフェレストランの「羅座亜留 竹原店」があり、バラを見た後にコーヒーを飲みながらくつろぐのも素敵です。

「よしうみバラ公園へ」

デイサービスはなび

五月二日、しまなみ海道を渡り、よしうみバラ公園に外出レクへ出かけました。



よしうみバラ公園への外出レクは毎年恒例で行っていましたが、コロナの影響でここ数年はなかなか実現することができていませんでした。



久々の遠出外出レクが実現でき、お天気も良く満開のバラに利用者様も職員も大喜びでした。

「家庭菜園を楽しんでいます」

G H 重信の郷

季節が変わり、利用者さまと作っているミニ農園の野菜の植え替えをしました。



昨年の秋に植えたスナップエンドウは今年の春には大豊作で、利用者さまと一緒に沢山収穫できました。



収穫の後は夏野菜の植え付けになり、みんなで相談しているような種類のミニトマトを植えました。



土の耕し方から苗の間隔まで、入居者様の指示の元、無事植え付けを完了!! 収穫を楽しみにしています♪

「ゆうゆう的グルメ」

有料老人ホームよろこび

そのむかし、堀江港には広島方面へのフェリー乗り場がありました。鉄道の駅から近く便利なこともあって、とても賑わっていたそうです。その当時から五十年以上、地域で愛されている「みなと食堂」を紹介いたします。



— みなと食堂 —  
昼 11:00~15:00 夜 17:00~21:00 / 月曜定休  
松山市堀江町甲 1759 (海の駅うみてらす前) 089-978-0101

よろこびからは車で三分くらい。港のすぐそばにあり、定食や丼、鍋焼きうどんなどメニューが豊富で、昭和レトロな雰囲気も素敵です。テイクアウトもできるので、お天気のいい日は海を見ながらランチもいいですよ。



「編集後記」

新スタイル・デザインでの発行が二年目となりました。今号からセカンドシーズンのスタートとなります。

「新聞」という言葉は、中国の北宋時代に編纂された唐王朝の歴史書『新唐書』で初めて使われたと言われていて、日本語で書かれた物としては、一八六二年(文久二年)一月発行の『官板バタビヤ新聞』だそうです。が、『かわら版』を新聞に含めると、なんと天和から元禄(一六八一〜一七〇四年間)と言われていきますので、たいへん歴史あるメディアです。

近代においては一八七〇年(明治三年)に発行された『横浜岳日新聞』だそうで、最近紙印刷されたものは激減して、メディア配信が主流となり、スマホやパソコンで見るというライフスタイルが増えてきました。ゆうゆう新聞は、どちらの要望にも対応できるようにpdfで配布して、印刷してもらったことに加え、フェイスブックでの配信もスタートしました。



発行 株式会社悠遊社  
編集 広報担当  
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二・二四・三十八  
電話 〇八九九六五・一九九〇  
連絡先 koho@vivyusa.co.jp  
配布 毎月一日発行